

第42回全国大会（和歌山）分科会一覧（予定）

分科会	番号・名称	主な内容	共同研究者（予定）	会場
-----	-------	------	-----------	----

◇乳幼児期の実践

1	障害の早期発見と地域療育システム	母子・地域保健、健診、親子教室、通園事業・児童デイ・通園施設と条件整備、児童福祉法・自立支援法改正問題 (大迫より子、近藤直子)		和歌山大学
2	保育所・幼稚園における保育・療育	発達の見方、クラス編成・集団編成、あそび、就学までにつけたい力、保育条件整備、父母との連携など (藤上真由美、松原巨子、荒井聡)		
3	発達のおくれ	軽い発達のおくれのある子、知的障害やダウン症の子どもの保育、集団編成、あそびなど (木下孝司)		
4	自閉症・自閉的傾向	自閉的傾向をもつ子どもの保育、「問題行動」のとらえ方、コミュニケーション、集団指導と個別指導など (小淵隆司、白石正久)		
5	多動な子・集団参加が困難な子	多動な子ども、LD、ADHD、高機能自閉症児などの理解、クラスと集団、あそび、個別の指導、育児相談等 (佐々木美智子)		
6	肢体不自由・重症児	訓練のあり方、生活づくり、あそび、専門施設と保育園、家族援助、摂食指導、職種間の連携、医療的ケアの問題 (河合隆平)		

◇学齢期の実践

7	就学・修学と教育条件整備	就学指導・就学相談・体験入学。過大校・学級問題と教育条件整備。障害児学校・学級、通級指導教室等の新增設・充実の課題 (越野和之)		和歌山大学
8	発達の視点と「アセスメント」	子どもの見方、発達検査やその他の検査の活用、指導計画、評価など (茂木俊彦)		
9	通常学校の特別支援教育体制づくり	全校での支援体制づくり、校内委員会の設置と運営、コーディネーター、巡回相談等の活用など (坂下伸一、高橋智)		
10	通常学級・通級指導	授業の進め方、授業内外での援助のあり方、集団づくりと集団保障など (清水貞夫)		
11	障害児学級	教育課程と授業づくり、集団編成、校内支援、通常学級や通級指導との連携など		
12	特別支援学校制度と学校の再編	障害種別をこえた学校のあり方、学校統廃合問題、適正配置、教職員集団、外部機関活用など (荒川智、杉浦洋一)		
13	センター的機能とコーディネーター	小・中学校への支援、福祉や医療機関との連携、相談機能、就学相談、コーディネーターの役割など (河原京子、二通諭)		
14	障害児学校の教育課程と授業づくり	教育課程編成、授業計画と実践、集団編成、複数担任、教材、学習指導要領など (妹尾豊広)		
15	後期中等教育・卒後の課題	教育内容、教育課程、労働教育、高等養護学校、新タイプの高等養護・高校内分校、卒後の実態、職業教育と進路指導、アフターケア、進学、専攻科設置や実践など (河南勝、坂井清泰)		
16	寄宿舎教育・生活教育	寄宿舎の役割、生活づくり、生きる力を育てる実践、職員体制、統廃合問題など (大泉溥)		
17	放課後保障と地域での生活	放課後や長期休暇中の生活実態、学童保育所の入所、障害児学童、自立支援法、実践交流、サマースクール (黒田学、津止正敏、村岡真治)		
18	国語とことばの発達	国語教育の内容と方法、文字・文章の読み書き、読み聞かせ・劇などの実践の交流など (柳田洋)		
19	算数・数学	数量・図形・空間認識の発達と系統的指導、教材・教具の工夫、学習集団など (石川静雄)		
20	理科・社会・生活・総合学習	子どもの発達と教科の系統性、自然認識・社会認識の発達、総合的学習、教材・教具の工夫、学習集団など (青木道忠)		
21	交流、共同教育、障害理解学習	学び合い、育ち合う交流・共同教育。障害・障害者問題への正しい理解を育てる学習。障害者自身の自分理解学習 (池田江美子、大島悦子)		

◇青年期、成人期の実践

22	作業所・授産施設の運営と実践	作業所や施設づくり、資金づくりと運営、作業・労働内容、集団づくり、地域連携、自立支援法下の課題など (田中きよむ、久澤貢)		和歌山大学
23	障害の重い人の日中活動	重度知的障害、「強度行動障害」、重症心身障害のある人たちへの支援、コミュニケーション、医療的ケア、労働、生きがいづくりの場と活動、自立支援法下の課題など (白石恵理子)		
24	一般就労	就労生活の実態や悩み、安定就労への援助、就労への移行支援、援助付就労、職安との連携、自立支援法下の課題など (峰島厚)		
25	生活施設・グループホームの運営と実践	グループホームや生活施設づくり、運営方法、日課、生活空間、集団づくり、職員集団、自立支援法下での課題など (加藤直樹)		
26	地域での生活と支援	自立への願い、所得保障、ヘルパー、住宅、デイサービス、ボランティア、地域、ケアマネ、自立支援法下での課題 (松本誠司、丸山啓史)		
27	女性障害者	女性の悩み、権利侵害、仕事や生活の問題、恋愛、結婚と家庭生活、子育て、ヘルパー、所得保障、近所づきあいなど (田中智子)		
28	壮年期・高齢期・中途障害	高齢と障害、生活と労働、仕事の開拓、障害の受容、家族との連携、作業所づくり、介護保険、後期高齢者医療など (池添素)		
29	青年学級、文化活動	社会教育の実践、生涯学習、制度保障、音楽活動、演劇・ミュージカル、人形劇など。作業所などでの自主的な活動交流 (高橋正教)		

◇ライフステージを貫く実践と課題

30	重症心身障害1 笑顔の獲得などを課題とする人たちの生活と発達	6か月頃までの発達課題をもつ人の教育、生活リズムの確立、健康、姿勢、摂食指導、自立活動、訪問教育の実践など (細淵富夫)
31	重症心身障害2 人やものに向かう力などを課題とする人たちの生活と発達	10か月頃までの発達課題をもつ人の教育、要求表現、喃語、模倣、指さし、コミュニケーション手段、教材工夫など (荒木穂積)
32	視覚障害のある人たちの生活と発達	視覚障害と発達、就学前の子どもたちへの援助、視覚障害教育の専門性と役割、進路、職業、生活と権利など (渡辺謙)
33	聴覚障害のある人たちの生活と発達	言語獲得とコミュニケーション手段、適正就学、通級による指導、9・10歳の発達の節、後期中等教育と進路指導など (竹澤清、藤井克美)
34	知的障害のある人たちの生活と発達	ライフステージを見通した支援体制づくり、施設と学校間連携、療育・教育課程・授業づくり、教材工夫、学校や施設運営、生活指導、遊び、自治活動・集団づくり、労働教育、就労支援など (高橋実)
35	肢体障害のある人たちの生活と発達	障害の重度化と実践、医療的ケア、学級のあり方、進路指導、自立活動。乳幼児期から青年期、成人期を見通した教育や医療、福祉のあり方、二次障害や医療、リハビリテーションの課題 (坂野幸江、深沢美佐子)
36	病弱、不適応、心身症などの人たちの生活と発達	生きる力を育てる、院内学級実践、幼児期から後期中等教育までのあり方、ターミナルケア、医療との連携など (田中敏雄、山本耕平)
37	自閉症の人たちの生活と発達	ライフステージを見通した実践の検討、家族支援、医療との連携、障害特性、「問題行動」のとりえ方、コミュニケーションの力を育てる、集団指導と個別指導、ことばや要求を育てる実践。講義を中心にした分散会も設置 (内田芳夫、黒田吉孝、別府哲)
38	LD、ADHD、高機能自閉症等の人たちの生活と発達	障害特性、子どもの実態と障害、教育実践、適正就学、早期発見から教育、進路までの条件整備、学校・学級づくり、放課後・休日活動など 講義を中心にした分散会も設置 (奥住秀之、田中良三)
39	障害のある人と音楽	音楽表現、うた・リズム、観賞、教材・創作曲の交流
40	障害のある人の健康とスポーツ	運動文化、さまざまな競技とその工夫、技術、実技の交流
41	障害のある人と造形表現活動	発達と造形表現活動、教材の工夫、学級・学校での実践、作品の交流 (板井理)
42	障害のある人の性と生	性的にも健康に人間らしく生きる権利、自慰、恋愛、年齢や障害に応じた教育や支援の実践交流、性教育攻撃の動向 (木全和巳、永野佑子)
43	障害者運動	障害者自立支援法、介護保険、障害者運動、参政権、成年後見、権利擁護、無年金障害者、後期高齢者医療など (塩見洋介・白沢仁)
44	まちづくりとバリアフリー	交通機関の充実、まち点検活動、まちづくり条例、バリアフリー法、防災とまちづくり、住宅と環境など (市橋博、黒沢彬)

和歌山大学

◇特別分科会

特別1	障害者権利条約と国内法	権利条約の内容と役割、政府仮訳の問題点、批准に向けた国内法整備の課題など (玉村公二彦、中村尚子)
特別2	精神障害のある人の生活と権利	自立支援医療と運動、地域生活と支援、仕事と生活、作業所の役割など (加藤直人)
特別3	親、きょうだい家族のつどい	親やきょうだいの悩み、ファミリーサポートのあり方、健康、年齢をこえて語り合います (岡本美知子)
特別4	語り合おう! なかまの願い	知的障害のあるなかまが集まって語り合い、楽しく交流します。仕事・趣味・恋愛・自分の街など

和歌山大学

分科会レポートの提出方法

- ①全国事務局に「レポート作成の手引き」と所定の用紙を請求してください。
- ②所定の形式で7月7日(月)までに全国事務局に提出してください。参加者全員に配布される「レポート集」に掲載します。事前連絡なしの当日持ち込みは、分科会で発表できないことがあります。
- ③発表に際して必要とするビデオの使用希望はレポート提出時に明記してください。

自主出版の委託方法

- ①大会準備委員会または全国事務局に「取扱方法」と申込書を請求してください。
- ②7月7日(月)までに所定の申込書で大会準備委員会(和歌山)に申し込んでください。